

週刊 **タバコの正体**

火がついたタバコの先端から立ち上る煙(副流煙)は、想像以上に有害で危険です。だから、その煙を吸わされる受動喫煙にも健康被害はあるはずですが、日常生活でそれを実感することはできません。ところが、下の表を見てください。

なんと、受動喫煙が原因の肺がんや心臓病などで死亡している人が全国で約6,800人もいます。表をよく見ると、タバコを吸わない多くの女性が他人のタバコで亡くなっている事が分かります。

受動喫煙により、1年間に6,800人死亡

疾患	曝露場所	人口寄与危険割合		受動喫煙起因年間死亡数(注)	
		男性	女性	男性	女性
肺がん	家庭	0.4%	6.2%	201人	1,131人
	職場	0.9%	1.9%	448人	340人
虚血性心疾患	家庭	0.5%	4.8%	206人	1,640人
	職場	3.2%	4.3%	1,366人	1,471人
		計		2,221人	4,582人

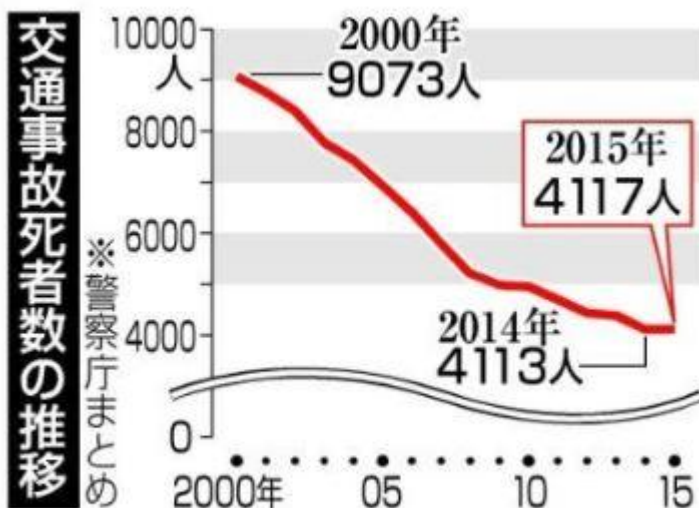
男性2,221人(うち職場1,814人)、女性4,582人(うち職場1,811人)で、6,803人(うち職場3,625人は全体の53%)が、1年間に受動喫煙が原因で死亡していることになる。

つまり**受動喫煙をなくすことにより、1年間で約6,800人の命を救うことができる**と考えられる。

(注)人口寄与危険割合の四捨五入のため受動喫煙起因年間死亡数が「人口寄与危険割合×年間死亡数」と一致しない場合がある。

厚生労働科学研究成果データベース「今後のたばこ対策の推進に関する研究」平成22年度
「たばこの健康影響に関する新たな科学的証拠の創出ならびに系統的収集と情報共有基盤の構築に関する研究」

東京都福祉保健局「健康ステーション」サイトから



そして、左のグラフを見て下さい。じつは交通事故で亡くなる人は、年々減少し年間で約4,000人近くとなっています。

つまり、現在は交通事故より受動喫煙の方が死亡者数が多く、より危険なのです。

産業デザイン科 奥田 恭久